

空気環境測定

項 目	基 準	測定 実施 回数	基準が適用される設備の種類	
			空調設備 外気導入、流量・温湿度の調整を行う設備	機械換気設備 外気導入・流入調整を行う設備（換気扇も含まれる。）
1 浮遊粉じんの量	0.15mg/㎡以下	2月以内ごとに1回 （2回／測定日）	○	○
2 一酸化炭素の含有率	10ppm以下		○	○
3 二酸化炭素の含有率	1000ppm以下		○	○
4 温度	17℃以上28℃以下		○	－
5 相対湿度	40％以上70％以下		○	－
6 気流	0.5m/sec以下		○	○
7 ホルムアルデヒドの量	0.1mg/㎡以下 （0.08ppm以下）	※	○	○
※ホルムアルデヒドの量は、特定建築物の建築、大規模の修繕・模様替えを行ったときは、その建物の使用を開始した時点から直近の6月1日から9月30日までの間で測定すること。				

水質測定

項 目		検査実施回数
遊離残留塩素の含有率		7日以内ごとに1回
11項目 （省略不可）	一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度	6月以内ごとに1回 （省略可項目は水質基準に適合した場合、次の1回を省略可能）
5項目 （省略可）	鉛及びその他の化合物、亜鉛及びその他の化合物、鉄及びその他の化合物、銅及びその他の化合物、蒸留残留物	
消毒副生成物	クロロホルム、ジブromクロロメタン、ブromジクロロメタン、ブromホルム、総トリハロメタン、シアン化物イオン及び塩化シアン、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、臭素酸、塩素酸トリクロロ酢酸、ホルムアルデヒド	6月1日～9月30日の間に1回

ねずみ・昆虫駆除

作業項目	作業内容
1. 生息調査	ねずみ・昆虫等の発生場所、生息場所及び侵入経路、並びに被害の状況を確認するために、次の方法のうち必要な調査を行う。 ① 聞き取り調査 ・各室の使用者から生息状況や被害の有無を聞き取る。 ② 目視による調査 ・虫体、糞、卵鞘、脱皮殻、シミや汚れ等の証拠を調査する。 ③ トラップ調査 ・ねずみ・昆虫等の種類、生息密度を調査するため、粘着トラップで、での捕獲、無毒餌による喫食の有無の確認等の調査をする。 ④ 環境調査 ・ごみの処理状況、飲食物の保管状況、ねずみ・昆虫等の潜伏場所となる割れ目や隙間の有無、防虫網設置の有無等、対策の有無や有効性を調査する。
2. 作業計画書作成	調査終了後、生息状況報告書及び作業計画書を作成し、必要な防除方法や薬品散布箇所等の対策を決
3. 防除作業	事前に作成した作業計画書（駆除又は予防作業方法、使用する殺虫剤等の名称、使用方法等）に基づき、施設の環境維持に必要な駆除作業又は発生防止の措置を行う。
4. 報告書作成	生息状況及び防除作業の内容について報告する。